

第16回 漁港漁場関係事業担当者会議開催



担当者会議の様相

平成29年4月27日(木)、農林水産省7階培養殖産課、国土交通省国土地政務局、環境省水・大気環境局の担当者より資材に基づき説明が行われた。この会議は、全国の災害復旧事業関係及び検査関係の担当者を対象、毎年開催されているもので、今年は全国から延べ

北海道漁港漁場大会を開催

北海道漁港漁場協会
北海道漁港漁場協会



関係者約180名が参加した

北海道漁港漁場協会(会長・高橋聖神恵内村長)は、4月19日午後3時15分から札幌市内のホテルホテルタワー札幌において、2年に1度の第24回北海道漁港漁場大会を開催した。

衆参両院国会議員(秘書等代理出席)、北海道議会議員(水産林務委員会委員等)、水産庁、北海道庁、水産部、(公社)北海道水産会、(公社)全国漁港漁場協会、会員市町村・漁協等総約百八十名

漁港漁場新技術研究会講演会開催案内

開催案内
(定時総会終了後)

【一社】漁港漁場新技術研究会は、6月30日(金)に東京都十代田区のコアビル6階で第4回定時総会を開催し、総会終了後に、今後の漁港漁場整備について「仮題」というテーマで講演会を行う。

が参加した。石山英雄副大会長(松前町長)の開会の言葉に続き、高橋会長が、「本協会は、昭和20年の発足以来60有余年、関係機関の指導、援助を受けて、

つぎ全国400カ所の危険箇所に対応する予定である。また、ICUTを導入する中、ICTを導入して管理等の効率化を推進する。③大規模災害時の対応策について、水産部の担当者も連携を取って事業を進めてもらいたい。」との挨拶が行われた。

獲得不振、長びく魚価安や消費の低迷、漁業者の高齢化、漁船の高船齢化、後継者不足という差し迫った問題、近年多発する台風や海面の高水温化など、厳しい状況が続いている。本道が、我が国における水産食糧基地として、今後どのような役割を果実に果たしていくために、

域での漁場開発技術、「地震や津波対策」「災害発生後の漁業の継続と早期再開を図るための防犯・減災技術」「漁港入りの最大限の活用」のための維持保全、情報発信技術について優先して取り組むべき技術課題など、今後の漁港漁場整備について、

北海道漁港漁場協会が総会を開催

北海道漁港漁場協会(会長・高橋聖神恵内村長)は、4月19日午後1時から札幌市内のホテルタワー札幌において、第24回定時総会を開催した。

柱に重層的に取り組み、新たな計画として今年度からスタートして、この計画を力強く推進していくことが、これまでも、増進した漁港漁場の活用、漁場の活性化に大きく貢献してきており、力強い支援と協力を願っている。

漁港往来

- 4月5日(水) 北海道水産林務部長 榑宮輝
- 4月6日(木) 沖繩県農林水産部 渡辺啓一
- 4月13日(木) 兵庫県農政環境部 農林水産局長 久保野
- 4月17日(金) 富山県農政環境部 農林水産局長 山本
- 4月18日(火) 富山県農政環境部 農林水産局長 山本

1. 水産関係施設災害対策の動向について
2. 水産関係施設の災害対策について
3. 大規模災害時の対応策について
4. 海洋防災対策について
5. 水産部の担当者も連携を取って事業を進めてもらいたい。」との挨拶が行われた。